

ならはみらい

3回目の開催!Jヴィレッジハーフマラソンを盛り上げました!

12/11(日)に開催されたJヴィレッジハーフマラソン。檜葉町活性化協議会として町内5か所に応援スポットを設け、地域の方や各種団体の方と一緒に沿道応援しました!檜葉にお住まいの方はもちろん、震災後に町外・県外から応援に来てくださった方々がマラソンランナーとして町内を駆け抜ける姿もありました。



木戸駅東側広場で沿道応援をする山田岡行政区の皆さん

“ならはみらい”的最新情報を定期的にお届けします!

- P2 ごあいさつ・町外在住の学生たちの活躍を紹介!
- P3 ならは応援団活動報告・最新情報を Pick up!
- P4 檜葉町立地企業親和会の活動報告
みらいスタッフが紹介!イマドキ“ならは事情”
- P5 ディープなひと。を紹介♪・アウトドアに関する取組み
- P6 最近のCODOUの動き・ホープソーリズムに参画中
- P7 “地域でつくる”ならは百年祭のご報告
- P8 笑ふるタウンの動き・理事会・臨時社員総会のご報告等

一般社団法人ならはみらい

2014年6月末にまちづくり会社として設立。「きずな・安心・活力」この3つの基本理念のもと、町内外から応援をいただきながら町民自身が主体的に関わりを持ち、住みよい暮らしどころとなるよう様々な事業に取り組んでいます。

地域と共にまちづくり



新年、あけましておめでとうございます。

日頃より当法人の取り組みにつきまして、関係者の皆様方には、ご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。当法人では昨年度より檜葉町の第6次町勢振興計画に基づき事業方針を見直し事業を展開しております。12市町村の重点施策でもある移住定住の事業では、町に住む方や新たに来られる方、町のために何かしたいと考えている方の拠点となる施設“CODOU/コドウ”を整備し、新たに移住される方だけでなく、近隣の方々にも利用され、地域に開かれた施設としてご利用いただいております。

また、地域の皆さんでプロジェクトチームを結成し、開催された「ならは百年祭」では、子どもから大人まで多くの方々に楽しんでいただきました。檜葉町の伝統や文化を継承し、地域に愛され守られる祭りとなるよう100分の1歩目を踏み出したところです。今後も様々な取り組みを継続していくため、より多くの方のご理解とご協力を得ながら、地域と共に“まちづくり”を進めて参ります。本年もより一層のご支援を賜りますよう心よりお願ひ申し上げます。

若者のチカラを檜葉町へ!!

ならはみらいでは、交流人口・関係人口に関わる事業が複数あります。その中でも夏休み期間を中心に、町外・県外在住の学生たちが大活躍! 今回はそんな“若者のチカラ”をご紹介します!!

[大学連携] まちをフィールドに研究



大分大学のノルディックウォーキング教室の様子

大学の研究を町内に呼び込むことで、地域の課題解決への糸口を探り、地域住民や事業者等と学生との関係性の構築を目指した事業を昨年度から実施しています。

今夏は工業系、情報系、政策系、健康系など100名近い学生さんが檜葉での研究を進めています。

スポーツ協会と協働したノルディックウォーキング教室の開催や福利厚生システムの調査など、調査・企画から実証までをおこなうことで、より大きな効果が期待されます。

[夏季インターン] ふるさと納税を通じて“物語”を届ける



インターン生(左から蓬田未涼さん、岡えみりさん、遠藤千尋さん)



ふるさと
チョイス

←檜葉町のふるさと納税サイトはこちら

檜葉町のふるさと納税返礼品の最大の魅力である「生産者の方々一人ひとりの物語」を編みなおし、全国に届けたい!

8月から約1か月半、ならはみらいのインターンとして町内に滞在し、3人の大学生が活動を実施。現状分析から始まり、生産者の方々へのインタビューや写真撮影、返礼品紹介サイトの記事作成まで実施してくれました。

商品の魅力や生産者さんのこだわりや想いをどう伝えるか。工夫を凝らし、意見をぶつけ合いながら、一生懸命に、取り組む姿が印象的でした。



生産者の方へのインタビュー

町外からのチカラで町を元気に!! ならば応援団 活動報告♪

学生たちが町民の想いに触れ “今”的檜葉を後世に伝える

町外在住の学生たちが、檜葉町に関わる様々な立場の方に当時の想いをインタビューし、1枚のポスターにする『ならば31人の“生”的物語』製作プロジェクト。これまで155人の物語が紡がれてきました。震災から10年以上が経過し、インタビューさせていただいた方々はそ



檜葉は住めば都だ

完成した作品

の後、どんな暮らしをして、どんな今を生きているのか…
2015年にインタビューした7名の方の“その後の物語”を製作しました。

今回、活動してくださったのは、このプロジェクトの立ち上げから携わる、立命館大学 山口洋典教授の授業を受講する学生たち



町民の声に耳を傾ける学生

です。400字にまとめる難しさに奮闘しながらも作品を完成させてくれました。

この作品は、目には見えない人の想いが綴られたアーカイブです。この貴重な作品は町内外に展示し、檜葉町の背景や魅力そして、“今”を発信していきます。

応援団員数
(令和4年12月19日時点)

団体登録 21 団体 個人登録 294 名

檜葉町に想いを持って下さる
“ひと”的つながりを大切に。

交流!



Pick up

発信!

第3回しゃべくりエイトを開催



双葉郡8町村のまちづくり会社等からなる協議会「ふたばエイト」。ならばみらいが事務局を担い、活動をしています。

12月10日(土)には、Linkる大熊を会場に「第3回しゃべくりエイト」と題してシンポジウムを開催。zoomやYouTubeでも配信しました。

今回は、移住や田舎暮らしに興味がある方を対象に、福島・双葉郡の暮らしをご紹介。8町村から1名ずつ、様々な個性やバックグラウンドがある移住者の方々に集まっていただき、双葉郡での日常生活を円グラフや写真とともに紹介しました。特別なかっこよさはないかもしれません、「普通に暮らせる田舎暮らしのリアル」が伝わったら良いなと思います。

檜葉出身者のチカラを活かしたまちづくりへ



11月27日(日)東京グリーンパレスを会場に、首都圏在住の檜葉町出身者らでつくる「ふるさと福島檜葉会」の設立総会及び交流会を開催いたしました。

ならばみらいでは、檜葉町から受託し、会の企画・運営を実施。当日は、町の関係者を含め約60名が出席しました。会則の承認や役員選出の他、檜葉町に暮らす方々のクロストーク、町の風景写真を使ったクイズ企画を通じて故郷を懐かしみ、世代を超えて交流を深めました。檜葉町から離れて暮らす会員のみなさんのチカラを活かした新たなまちづくりを進める第1歩を踏み出しました。

会員は随時募集しておりますので、お問い合わせください♪

檜葉町立地企業親和会

会員

檜葉町南工業団地及び北産業団地に立地する事業所、並びに竜田駅東地区立地事業所、その他公共施設に入居する事業所

檜葉町立地企業親和会とは、檜葉町内に立地する企業等が地域と良好な関係を構築し、企業間の連携・親睦を図り、町が展開する各種まちづくり施策に積極的に関わることを目的とする組織です。

ここでは、活動の様子などを紹介させていただきます。

町の環境美化のため、毎年開催される“檜葉町クリーンアップ作戦”。

秋の活動では、山田岡行政区にご協力頂き、南工業団地の会員がクリーンアップ作戦の他、花植え活動にも参加させていただきました。



山田岡行政区には4社・13名が参加。その他、山田岡行政区以外の地区や工業団地の敷地内においてもクリーンアップ作戦に参加された会員の皆さんも数多くいらっしゃいます。今後も地域と顔の繋がる関係を築けるような取り組みを実施して



参加企業 ウツエバルブサービス株式会社 福島事業所
恵和興業株式会社

住鉱エナジーマテリアル株式会社
矢野口自工株式会社

これが イマドキ!

“ならは事情”

•ならはみらいスタッフが紹介!

ホトトギス山のお試し山登り

ならはみらいでは、観光協会の事務受託業務をおこなっています。

昨年度、ホトトギス山の駐車場整備や山頂の伐採をおこないました。

その効果を検証すべく、観光協会理事とお試し山登りを実施しました。片道25分程度で登ることができ、山頂からは笑ふるタウンならはや井出川の河口を望むことができました。



起伏も少ない登山道はお子さんやお年寄りの方にもピッタリです!

こども園児たちの法被を縫製しました!!

ならは藍染め会は、現在活動場所が改修中の為、出来る範囲での活動をしています。今年は、藍の育成、乾燥葉作り、生葉染め、絞り作業等をしました。園児たちの法被の縫製依頼があり、みんなで試行錯誤をしながらの裁断・縫製作業でしたが、楽しい時間を過ごすことができました。完成した法被を着て踊る園児たちを見る事ができて元気をもらいました。



一緒に藍染めしませんか?
待ってま~す!!

つながりの深い“ひと”をご紹介！ディープなひと。

ご自身の仕事場のひとつとしてCODOUを利用されている宇佐見采花さん。お仕事や、シェアハウスでの生活についてインタビュー！

❶ CODOUをどのように利用されていますか？

コワーキングスペースとして利用させてもらっています。ずっと同じ場所では集中力も切れてしまうので、町内外含めていろいろな施設を活用しています。最近では周りに同じようなスタイルでお仕事をしている仲間が増えたので、今後はその仲間たちと一緒にCODOUでお仕事をしてみたいです！

❷ シェアハウスでの生活はいかがですか？

すごく楽しいです！ちょうどいい距離感で干渉しそぎず、手伝ってほしい時には積極的に係わってくれるような、同じ空気感の住人が集まっています。

うさみ
宇佐見 采花さん
あやか
ウェブマーケティング
檜葉町出身・27歳

CODOUを活用しています！



まかない（朝食・夕食）もとても美味しいで愛情を感じます。今の楽しみは住人が中心となっている「kashiwaya菜園」での野菜作りです。

「kashiwaya菜園」で仲間と作っているお野菜

自然が大好きで木戸川や井出川沿いを仲間と散策することも楽しみの一つ。「今後は交流人口の拡大につながる事業に取り組んでいきたい」と笑顔でおっしゃる宇佐見さん！応援よろしくお願ひいたします。



アウトドア体験の担い手育成にも着手



今年度で2年目を迎えた「アウトドアを軸とした檜葉の魅力体感・発信事業」。海・山・川を1日で周遊できる、檜葉の自然環境の魅力を再考し、主体的に遊びを楽しむ魅力的な人材とふれあえるコンテンツづくりに取り組んでいます。昨年度は木戸ダム湖でSUPを体験したり、乙次郎林道からアクセスして、途中、ホトトギス山山頂へのトレッキング、天神岬スポーツ公園をゴールとするマウンテンバイクのコース造成にも取り組みました。もちろん天神岬キャンプ場の楽しみ方も忘れてはいません！



本年度は、将来的に体験会などを開催するための人材育成にも着手しています。県外から専門家を講師に迎え、10月にマウンテンバイク、11月にはSUPの講習会を開催しました。このうち10月のマウンテンバイク講習会には9名が参加。天神岬スポーツ公園では、バイクのメンテナンスの知識や、正しい乗り方などを学び、午後からは乙次郎林道～天神岬スポーツ公園までのコースを実車。秋深まる檜葉の自然を満喫しながら、ペダルをこぎました。

オープンして半年が経ち、CODOU／コドウも様々な形で地域の皆様とつながることができました。今回はCODOUが移住相談窓口の他にどの様に利用されているかを紹介します！

I階では町内外でリモートワークをされている方が思い思いの場所でお仕事をされている光景が見られます。町内企業の研修や地域の方たちの打合せに利用していただく機会もあり、CODOUに皆さんの笑顔が溢れます。2階のレンタルオフィスには檜葉町で起業した3社が入居し、檜葉町を活気づけるため日々お仕事に励まれています。

自主企画で7月に「サマーフェスティバル2022」に合わせ花火鑑賞会を開催し、多くの皆様に



↑ 柏屋旅館(1/20スケール)
制作:日本工業大学



この日は山田岡行政区のミニディに参加されている皆さんがCODOUの見学にいらっしゃいました。「お友達同士でゆっくりお話ししたい！」という方も、ぜひCODOUをご利用ください。新しい出会いが生まれるかも！？

●お問合せはこちら
NARAH START-UP PLACE CODOU
TEL.0240-23-6271 開館時間:9:00~17:00
休館日:日・祝日・第2・4火曜日・年末年始

ホープツーリズムに参画中、

福島オンラインの学びを求める学生と濃密な時間

世界で類を見ない「複合災害（地震・津波・原子力災害）」を経験した唯一の場所である福島県には、オンラインの学びを求めて、県外の学生が教育旅行に訪れています。ならばみらいのスタッフ3名も、複合災害の教訓等から持続可能な社会・地域づくりを探究・創造するスタディツアープログラム「ホープツーリズム」に参画しており、ツアーアテンド及びファシリテートを担当する総合案内人「フィールドパートナー（FP）」を務めています。コロナの影響



で昨年度は受け入れが困難でしたが、今年度は再びニーズが高まっています。学びのテーマもさまざまで、SDGsや廃炉といった踏み込んだものもあり、県外からの学生との濃密な時間を通して、スタッフも大いに刺激を受けています。

ならは百年祭

地域に愛され、守られる、
100年後も受け継がれる祭を！



ならばみらい設立から8年。各種事業を通じ、町民の方々はもちろん、地域組織（地元企業・新出企業）、サークル、町外から応援してくださる方々等さまざまな繋がりができました。私たちが、それぞれをつなぎ、その力を活かすため、新たに「祭」づくりを始めました。

100年続く祭をつくるのは、地域の“ひと”。

100年後に受け継ぐ祭をつくるという一つの夢を叶えるためには、地域の力を育て、祭りと共に文化や歴史を継承しなければなりません。そのため、地域の方々を中心に構成した“地域プロジェクトチーム”を立ち上げ、企画・運営を進めたほか、地域学校協働センターの子どもたちや、地域の祭りを担う組織の皆さんにもご協力いただきました。

100年間、檜葉町で人々が集うことができるよう、地域の理解と、より多くの支援者を得ながらその仕組みを構築していくたいと考えております。来年もお楽しみに！



各地域で祭を担う方々が集う



地域プロジェクトチーム



子どもたちとのみこしづくり

スペシャルゲスト
「切腹ピストルズ」による
「庄巻のパフォーマンス」



▲海鮮焼



▲こどもみこし



ならは百年祭 当日の様子を動画にまとめました！



笑店街・交流館は、皆さんの想いを一緒にかたちにします！



ここなら笑店街・みんなの交流館ならばCANvasでは、町民や他市町村の方々から提案・相談いただいたイベントの開催に向けてご協力させていただいている。

12月には、交流館を練習場所として利用してくださっていたフルート奏者木村百合子さんの提案を受けて、笑店街・交流館をステージに、フルート・ピアノによるジャズコンサートを開催しました。また、地域の方にご提案を受けて、クリスマスイブにも音楽ライブを開催。広報の他、イメージするイベントの形をすり合わせ、実現できるようお手伝いしています。交流館や笑店街でイベントや教室を開いてみたい方は、是非一度ならぬみらいまでご相談ください。



Info 理事会・臨時社員総会開催！

令和4年度第2回理事会並びに臨時社員総会が開催され、下記の事項が可決されました。

[承認事項]

- ・令和4年度事業報告（中間）
- ・令和4年度収支決算報告（中間）

[議決事項]

- ・令和4年度補正予算について



MIRAI Now ならぬみらいの動き

1月 14日 • 笑ふるタウン新春イベント

2月 12日 • プラネタリウム鑑賞会

3月 11日 • 3.11特別企画 -みちのうえ-

4月 3日 • 仕事はじめ式

6月 • 花植え活動

令和5年度定時社員総会
及び第1回理事会

毎月実施 楢葉町活性化協議会会議（第1水曜日）
ここなら笑店街テナント会（第1木曜日）

発行者・問い合わせ先



一般社団法人ならぬみらい

住所：〒979-0604 福島県双葉郡楢葉町大字北田字中満260番地 みんなの交流館ならばCANvas内

電話：0240-23-6771 FAX:0240-23-6772

Mail:info@narahamirai.com Web:https://narahamirai.com

News ごあいさつ

12月をもって、楢葉町の地域おこし協力隊としてふるさと納税関連業務を中心に担当していた青山隆宏さんが、3年間の任期を終えました。



3年間ありがとうございました。最初の大仕事は、東京五輪聖火リレー出発という大イベントで、復興の状況・楢葉町の魅力を広くPRすることだと想像してきましたが、文字通りウィズコロナの3年間となってしまい、大きく変わってしまいました。

ただ、2021/3/11を被災地でむかえるという、移住の大きな目的は果たせ、本当に良かったと思っております。今後は、引き続きホーリーリズムのガイドなどの活動を通じて、楢葉町を含めた双葉郡・福島県で起きたこと・現状を広く知っていただき、未来について考えていただききっかけを作っていくたいと思っています。



公式ホームページはこちら！ [その他、Facebook・Instagramもcheck!](#)



一般社団法人
ならぬみらい



みんなの交流館
ならばCANvas



ここなら笑店街



トライナラハ
(楢葉町移住情報)